

令和3年度 観光理財部会事業報告

◇役員会

第1回 役員会

開催日 2021年 5月 7日 **出席** 7人
開催場所 守山商工会議所
内容 1) 令和2年度事業報告並びに収支決算について
2) 令和3年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について
3) DX推進事業について
4) 滋賀県中小企業等への支援による地域経済活性化事業補助金について
5) その他

第2回 役員会

開催日 2022年 1月 20日 **出席** 6人
開催場所 守山商工会議所
内容 1) 令和4年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について
2) DX推進事業について(経過報告)
3) 商業系三部会合同視察研修について
4) その他

◇事業

専門家による情報発信事業(4月号)

開催日 2021年 4月 1日
掲載場所 守山商工会議所会報誌「あすのたね」
内容 1) BusinessCOMPASS(所報)での専門家による情報発信
(4月号) テーマ「補助金のための読みやすいWord文書作成 前編」
筆者 (株)ビット 森田淳氏

専門家による情報発信事業(5月号)

開催日 2021年 5月 1日
掲載場所 守山商工会議所会報誌「あすのたね」
内容 1) BusinessCOMPASS(所報)での専門家による情報発信
(5月号) テーマ「補助金のための読みやすいWord文書作成 後編」
筆者 (株)ビット 森田淳氏

専門家による情報発信事業(6月号)

開催日 2021年 6月 1日
掲載場所 守山商工会議所会報誌「あすのたね」
内容 1) BusinessCOMPASS(所報)での専門家による情報発信
(6月号) テーマ「ユーザー数は全国8,600万人以上!「LINE」のできるファン作り」
筆者 (株)ごえん 西村建郎氏

観光理財部会 通常総会

開催日 2021年 6月 8日 **出席** 4人
開催場所 守山商工会議所 (委任状 144人)
内容 1) 令和2年度事業報告並びに収支決算について
2) 令和3年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため懇親会開催なし

第一号議案

専門家による情報発信事業(7月号)

開催日 2021年 7月 1日
掲載場所 守山商工会議所会報誌「あすのたね」
内容 1) BusinessCOMPASS(所報)での専門家による情報発信
(7月号) テーマ「まちのお店が取り組むDX パート2」
筆者 IT導入診断士 角大介氏((株)アイダ)

専門家による情報発信事業(8月号)

開催日 2021年 8月 1日
掲載場所 守山商工会議所会報誌「あすのたね」
内容 1) BusinessCOMPASS(所報)での専門家による情報発信
(8月号) テーマ「インボイス制度への登録申請が始まります」
筆者 税理士 酒屋就一氏(酒屋就一税理士事務所)

専門家による情報発信事業(9月号)

開催日 2021年 9月 1日
掲載場所 守山商工会議所会報誌「あすのたね」
内容 1) BusinessCOMPASS(所報)での専門家による情報発信
(9月号) テーマ「5分で分かる改正高年齢者雇用法のポイント」
筆者 社会保険労務士 東條豪雄氏(社会保険労務士法人三榮会)

専門家による情報発信事業(10月号)

開催日 2021年 10月 1日
掲載場所 守山商工会議所会報誌「あすのたね」
内容 1) BusinessCOMPASS(所報)での専門家による情報発信
(10月号) テーマ「従業員」の健やかさが「企業」の健やかさ」
筆者 アクサ生命(株) 日下英樹氏

専門家による情報発信事業(11月号)

開催日 2021年 11月 1日
掲載場所 守山商工会議所会報誌「あすのたね」
内容 1) BusinessCOMPASS(所報)での専門家による情報発信
(11月号) テーマ「今だからこそ！SNS活用の基本術」
筆者 (株)しがトコ 林正隆氏

専門家による情報発信事業(12月号)

開催日 2021年 12月 1日
掲載場所 守山商工会議所会報誌「あすのたね」
内容 1) BusinessCOMPASS(所報)での専門家による情報発信
(12月号) テーマ「男性が育児休業取得しやすい風土づくりを!!」
筆者 社会保険労務士 松尾美江氏

専門家による情報発信事業(2月号)

開催日 2022年 2月 1日
掲載場所 守山商工会議所会報誌「あすのたね」
内容 1) BusinessCOMPASS(所報)での専門家による情報発信
(2月号) テーマ「補助金獲得で終わらない事業計画書(前編)」
筆者 中小企業診断士 内藤朗人氏

第一号議案

専門家による情報発信事業(3月号)

開催日 2022年 3月 1日
掲載場所 守山商工会議所会報誌「あすのたね」
内容 1) BusinessCOMPASS(所報)での専門家による情報発信
(3月号) テーマ「補助金獲得で終わらない事業計画書(後編)」
筆 者 中小企業診断士 内藤朗人 氏

<DX推進事業について>

1. アンケート調査 (6/1~7/31)

<方法>

商工会議所会報誌折込並びに郵送にて、約 1,300 の会員事業所へアンケートを送付し、FAX または Web にて回答受付。

<回答数>40 件

<結果>

DX について、課題を把握している事業所は 3 割程度。半数以上が「課題がわからない・検討したことがない」と回答。自社 HP の定期更新は半数未満、資料のデジタルデータ管理、クラウドサービスの活用やスケジュールのオンライン共有等は 3 割前後しかできていない。

2. セミナー開催

<テーマ>「中小・小規模事業者の DX 課題を発見！まちのお店の DX セミナー」

<講師>IT 導入診断士 角 大介 氏 ((株) アイダ 代表取締役)

特別ゲスト (Zoom 参加) 梅崎健理 氏 ((株) ディグナ代表取締役)

※「～なう。」でユーキャン新語・流行語大賞トップ 10 を受賞経歴

<日時>8月5日(木) 14:00~16:00

<方法>会場(守山商工会議所)、Zoom(リアルタイム配信)、YouTube(後日配信)

<参加者>18名(会場6名、Zoom6名、後日YouTube6名)

<内容>

「DXとはITを使って変化を起こし、売上や利益を伸ばすしくみをつくること」であり、1) デジタイゼーション(アナログデータをデジタル化)、2) デジタライゼーション(業務プロセスをデジタル化)、3) デジタルトランスフォーメーション(デジタルで「新しい価値の創造」という3段階で順に進めていくべき。一部の人だけが取り組むと失敗することが多く、まずは多くの従業員に恩恵があり、効果がわかりやすいところから始めることが重要。優先順位としては、1) コミュニケーション(チャットやWeb会議)、2) 情報管理(クラウドでのファイル共有)、3) 基幹・業務システム(会計・給与・勤怠管理・販売管理・在庫管理等)の順になる。

<テーマ>「全国 8,600 万人以上のユーザーがターゲット！

LINE公式アカウント活用セミナー」 ※主催はサービス部会

<講師>西村 建郎 氏 ((株) ごえん 代表取締役)

<日時>8月18日(水) 14:00~15:30

<方法>会場(守山商工会議所)、Zoom(リアルタイム配信)、YouTube(後日配信)

<参加者>21名(会場11名、Zoom5名、後日YouTube5名)

<内容>

Facebook や Instagram、Twitter は主な利用者に年代や性別の方よりがあるが、LINE は幅広い年齢層に利用されており、日本国内の「生活インフラ」として定着している。LINE 公式アカウントうまく活用し、全国 8,600 万人以上が利用している LINE でマーケティングを。DX 推進事業の一環として、セミナー受講後に LINE 公式アカウントのスタートアップ支援サービスを個別に実施。

3. DXによる課題解決に向けた取り組み事例

(1) 個別相談

<課題>

商品在庫・販売・売上管理に関して、Excelにて入力管理しているが、計算式等は使えておらず、集計等は手計算で行っている。請求書等は別途作成しており、入金管理等も手作業で手間がかかっている。

<専門家の指導> (IT導入診断士 角 大介氏)

解決策として、マネーフォワードやFreeeといった会計アプリ、クラウド販売管理システムflam等の活用が考えられるが、現状の販売規模、売上額等を加味すると月額制の有料アプリを活用するのはあまり現実的ではない。まずは低価格で受講が可能なポリテクセンターのExcel基礎講座等を受講し、関数等を用いて現状のExcelデータを自動化し、効率向上を目指してはどうか。利便性を考えるとGoogleスプレッドシート等でクラウド管理し、商工会議所等の支援機関とも情報を共有しやすい形を検討されると良い。

<今後の対応>

当会議所指導課職員へ引き継ぎ、Excel講座の情報や費用負担の少ないアプリケーション等の紹介を随時行う。

(2) LINE公式アカウントスタートアップ支援(7事業所)

<専門家の指導> ((株)ごえん)

対面またはZoomを活用してアカウントの設計並びに運用方法についてヒアリングを実施。その後、随時LINE等で打合せをしつつ、アカウント登録および基本設定を代行、デザイナーも交えてリッチメニューボタンや友達登録を促すためのPOPを作成。アカウント初期構築終了後、再度対面またはZoomにて内容確認並びに各種機能の使い方をレクチャー。

<今後の対応>

事業所ごとに、お友達登録を促しつつ、定期配信を実施していただく。令和3年度に引き続き、(株)ごえんの担当者並びに事務局にて、支援を実施した7事業所の状況をヒアリングし、必要に応じて個別指導等を行う。また、当会議所会報誌内で事業報告と併せて完成したアカウントや運用状況を紹介予定。